

令和3年度 豊島区立学校における学校評価（特色ある学校の教育活動）の結果について

1 令和3年度 豊島区立学校における学校評価 実施概要

(1) 実施時期

令和3年度（令和3年4月から令和4年3月まで）

(2) 学校評価の内容

○ 学校自己評価（1学期末、2学期末）の実施

- ・保護者、地域の方を対象としたアンケートや心理検査（i-check）の実施
- ・アンケートや心理検査の結果を基にした一人一人の教員による評価、校務分掌等における評価の実施
- ・企画委員会や運営委員会等における評価の実施

○ 学校関係者評価（2学期末）の実施

- ・学校運営連絡協議会委員等による授業や行事の観察、校長・教職員等との対話の実施
- ・学校運営連絡協議会における学校自己評価（中間評価、年間評価）についての評価の実施

- ★ 豊島区教育ビジョン 2019 の基本方針に基づく、
学校自己評価の評価領域
- I 就学前から小学校・中学校への円滑な接続
 - II 確かな学力育成
 - III 豊かな心の育成
 - IV 健やかな体の育成
 - V 一人一人を大切にす教育の推進
 - VI 教師力の向上と魅力ある学校づくり
 - VII 家庭・地域との連携
 - VIII 働き方改革

★ 学校関係者による評価は、学校自己評価の結果について
以下の視点で行う。その際、学校に意見を述べる。

- A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である
- C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある

※ 【資料】の「学校関係者評価」の欄を参照

○ 次年度の教育課程を編成

- ・学校評価の結果を基に、次年度の教育課程に反映し重点的に取り組むべき取組をまとめる。
- ・学校関係者評価等の助言や意見を基に、全教職員で課題を共通把握し、次年度取り組む目標や方針を校長が決定する。

2 令和3年度 豊島区立学校における学校評価の結果について

今年度、すべての校（園）における学校関係者評価の評語は「A」もしくは「B」となっている。VII「特色ある教育活動」の評価項目は、各学校で教育課程に位置付ける内容として教育委員会より教育課程編成時に指導・助言を継続して行っており、学校が重点的に取り組む内容の評価を知る上で重要な評価項目となっている。

★ VII 特色ある教育活動「学校は〇〇〇〇への取り組みに関する教育を推進している。」

⇒ 学校関係者評価の結果 **33校(園)中 30校「A」 3校「B」**

大半の学校において、学校関係者評価の結果を見ると、学校と地域との連携、学校からの情報発信の取組について高く評価されており、ISS やコミュニティスクールの取組、外部人材を活用した取組等、地域と連携した学校の特色づくりが各校で進展していることがうかがえる結果となっている。

教育委員会としては、今後も、各学校が評価の実施とその結果の公表・説明を通して、適切な説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による特色ある学校づくりを進めていけるよう支援していく。